

救急車更新

仕様書

令和3年度

神奈川県立こども医療センター

第1 総則

1 目的

この仕様書は、神奈川県立こども医療センター（以下「発注者」という）が令和3年度に製作する救急自動車（以下「本車両」という）の仕様について定める。

2 車両の条件

- (1) 本車両は、救急器具等の積載装置を設け、救急隊員3名と重症救護者1名を収容できるもので定員数は7名であること。
- (2) 車両本体、艤装及び取り付け品は、車両総重量、走行時等の振動に対して耐久性に富むものを使用すること。
- (3) 清掃、点検、整備及び調整が安全かつ容易に行えるよう考慮すること。

3 適合法令

本車両は本仕様書に基づくほか、

「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」

(昭和45年6月10日消防防第337号)

「救急業務実施基準」

(昭和39年3月3日自消甲教発第6号)

「道路運送車両法」

(昭和26年6月1日法律第185号)

「道路運送車両の保安基準」

(昭和26年7月28日運輸省令第67号)

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

(昭和35年8月10日法律第145号)

その他関係法令に全て適合し、緊急車両として承認が得られるものであること。

4 費用負担

本車両の登録手続き、車検、回送及び納車完了までの費用は、全て受注者において負担すること。ただし、自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及び自動車リサイクル料については、発注者が負担する。

5 発注台数

発注台数は1台とする。

6 納車及び配置

(1) 納入期限

令和4年3月31日（木）

(2) 納入・検収場所

神奈川県立こども医療センター（神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4）

7 納入時の点検整備

納入に際しては、車両及び資機材各部について点検整備を行うこと。

8 納入講習

受注者は、納入時に発注者職員に対し、シャシ、艀装及の取り扱い説明を実施すること。

9 保証

- (1) 受注者が定める保証期間によるほか、納入日から起算して1年間とする。
- (2) 保証期間後であっても設計、製作及び材料不良等に起因する不具合が発生した場合は、受注者の責任と負担で修復すること。
- (3) メーカー公表の製品保証期間が1年間を上回るものについてはその保証期間に従うものとする。

第2 提出書類

1 受注者は契約締結後、速やかに発注者と製作上の細部にわたり十分な打ち合わせを行ったうえで、次の書類を各3部A4版ファイルに綴じ込み、発注者に提出、承認を受けた後に艀装を行うこと。

- (1) 製作工程表（中間検査、完成検査予定日を記入）
- (2) 車両諸元明細書
- (3) 車両五面図
- (4) 室内配置図面
- (5) 電気系統配線図

2 納車時に次の書類を1台につき各2部A4版ファイルに綴じ込み提出すること。

- (1) 車両五面図
- (2) 室内配置図
- (3) 電源系統配線図
- (4) 電気容量計算書
- (5) 車両取扱説明書
- (6) 各種取扱説明書

第3 検査

納入検査

- (1) 納入時において、本仕様書に基づくほか各種検査を実施し、その結果不合格と認められた箇所については直ちに改修し、再検査を受けること。
- (2) シャシ、艀装付属品及び高度救命処置用資機材は、車両納入時に全て納入すること。また、員数検査を実施すること。

第4 廃車

受注者は、本車両納入後に買い替え車両について、発注者と打ち合わせること。なお、抹消手続きは再登録が不可能なものとし、その費用は受注者の負担とすること。

第5 仕様

1 車両

車両は、現場機関員一名により車室内の電装機器類・ストレッチャー等の操作が敢行できるよう十分に配慮されたものであること。

(1) 車両の寸法等の基準

救急自動車の安全で円滑な走行を確保するため、別表第1に定める「車両の主要諸元」を満足すること。

(2) 車両の空間基準

救急自動車内で、救急業務が円滑に実施できるように、別表2に定める「車室内空間基準」を満足すること。

(3) サイドステップ及びリヤステップの高さが、地上高45cmを超える車両については、各ステップの改造を行うこと。

(4) 車両総重量については、シャシ許容限度荷重の範囲内で可能な限り最大とすること。

2 各部

(1) 車両外装

ア アンダーミラー

車両の前部に車両下部を写すアンダーミラーを取り付けること。

イ サイドミラー

広角式又は複合曲面式等の死角部分の減少措置を講じたサイドミラーを取

- り付けること。
- ウ 助手席サイドミラー
フロント左ドア又はサイドミラー上部に後方確認用の補助ミラーを取り付けること。
- エ ヘッドライト
ヘッドライトはLEDまたはハロゲン式とすること。
- オ 路肩灯
車両の両サイド下部に、後部タイヤの照明のため、路肩灯を取り付け、スモール連動で点灯すること。
- カ 車両後方確認装置（バックアイカメラ及びモニター）
後退ギアに連動して作動するバックアイカメラ及びモニター（メーカーオプション品）を取り付けること。
カメラは車両後方を確認できる位置に取り付け、モニターはカラーモニターとし、運転席から視認しやすい位置に設置すること。
- キ 赤色点滅灯
車両標準の赤色警光灯をルーフ前面・側面・後面にそれぞれ配置すること。
なお、全ての赤色灯は、1つの点灯スイッチにより点灯する電源回路とすること。
- ク 電子サイレンアンプ
電子サイレンアンプのスピーカーの最大出力は50W以上を2個とし、音声（バック・右左折）合成スイッチ及び解除スイッチを1箇所以上設けること。
また、フレキシブルマイクを運転席右側付近に取り付けること。
- ケ モーターサイレン
モーターサイレンを車両前方に取り付けること。フロントパネルに押しボタンスイッチ及び助手席足元に足踏みスイッチをそれぞれ1箇所ずつ設置すること。
- コ リヤハッチバック作業灯
リヤハッチバック内側に解放時周囲を照らすことのできる作業灯を1基設けること。
- サ 充電用機器等
自動バッテリー充電器を積載し、充電用コード（長さ10m以上）を付属すること。充電用コンセントは、車庫管理責任者と打ち合わせ、納車場所に適合する位置に取り付けること。コンセント接続中はエンジンスタートができない安全装置を取り付けること。また、充電中は外部電源で車内のACコンセントを使用できるものとする。
- シ オルタネーター

搭載する予定の医療機器を同時に使用した際にも十分な発電量を有し、各電装品の使用に支障を来さないこと。

ス リヤバンパー傷付防止板

リヤバンパーに損傷防止用の保護板等を設置すること。

セ ドライブレコーダー

フロントウィンドウ上部にメーカー純正品のドライブレコーダーを備えること。

ソ ETC車載装置

メーカー純正のETC2.0対応型車載装置を備えること。

タ 衝突防止被害軽減ブレーキ

車体前面にメーカー純正の衝突防止被害軽減ブレーキ装置を設けること。

(2) 車両内装

運転席と患者室を設け、全ての座席には3点式シートベルトを装着することとし、運転席及び助手席から患者室への移動可能な空間を確保すること。

ア 患者室座席

(ア) 横向き座席 (アタッチドシート)

3人掛けのそれぞれ独立した座面跳ね上げ式ハイバックシートタイプとし、横向きの状態から90度旋回して前向きに変更できる構造とすること。シートベルトはリトラクター付の3点式シートベルトとすること。

(イ) 後向き隊員座席 (メディカルシート)

座面跳ね上げ式ハイバックシートタイプとし、後向き状態から180度旋回して前向きに変更できる構造とすること。

シートベルトはリトラクター付の3点式シートベルトとすること。

イ 床面

患者室の床面は水洗いに耐える十分な防水処置を施すこと。

ウ 書類整理箱

運転席または助手席後方に、書類整理箱を取り付けること。

エ 電圧計

車室内の確認しやすい位置にバッテリーの電圧計を取り付けること。また、走行用のバッテリーとは別に車室内の架装関係の電源供給用のサブバッテリーを設ける場合はそれぞれのバッテリー状態を確認できるようにすること。

オ スポットライト

助手席に、フレキシブル型スイッチ付照明灯を取り付けること。

カ AC100Vコンセント

患者室内にAC 100Vコンセントを2口を5箇所以上設けること。

必要に応じてAC-DC変換コネクタを付属すること。

キ DC-ACインバーター

交流電源（AC 100V）を使用する資機材のために、DC-ACインバーター（正弦波 500W以上）を患者室内に設置すること。また、インバーター容量は本車両に積載する医療機器を同時使用した際にも耐えられる十分な容量を有すること。

ク 窓ガラス

患者室内の左スライドドアの窓ガラスは上部1/3を透明、下部2/3を曇りガラスとし、それ以外の患者室の窓ガラスは全面曇りガラスとする。

ケ 自動車用粉末消火器

薬剤重量1.8kg（4）型の自動車用粉末消火器を専用金具を用いて取り付けること。

コ フロントドア開口部保護シート

乗降時のフェンダー部に保護用シートを取り付けること。

サ 時計・温湿度計

患者室の別途指示する位置にデジタル時計及び温湿度計を取り付けること。

シ 患者室照明

- (1) 患者室天井に大型蛍光灯（LED式）を取り付けること。また、色温度は5700～7100Kの昼白色とすること。点灯・消灯の操作は、患者室で操作すること。
- (2) 患者室天井に患者用ベッドを照らすスポットライト（LED式）を必要数取り付けること。

ス 換気扇

患者室内が有効に換気できる換気扇を患者室に取り付けること。

セ 患者室移動用手すり及び後部昇降用手すり

患者室を移動するための手すり及び車両後部からの乗降者を補助するための手すりを取り付けること。

ソ 運転席集中ドアロック

車両各ドアのロックは、運転席付近のスイッチ等により開閉操作が可能で、また、キーによる運転席ドアロックの開閉操作で、各ドアのロックの開閉が連動している集中ドアロック方式とする。

タ 車載型冷蔵庫

患者室に5L程度の容量を有する車載型冷蔵庫を準備し必要に応じて固定装置を設けること。

(3) 救急資機材関係

ア 酸素吸入装置

10L酸素ボンベ及び圧縮空気ボンベを各1本ずつ設け、上部に減圧弁及び圧力計を装備し、患者室内の右側面にそれぞれアウトレットを各2口ずつ設けること。車室内に通す配管系統は室内に露出することのないよう極力内張り内を通線させること。

イ メインストレッチャー

ストレッチャーは電動駆動方式を用いて患者搬送時の車両への出し入れの際して補助の人員を必要とせず一人で作業ができるものとする。

メインストレッチャーは患者搬送用ストレッチャー1台及び新生児搬送用ストレッチャー2台を準備すること。酸素ボンベ架台が固定可能であること。

ウ 次に掲げる救急器材の積載装置を取り付けること。

救急器材の取り付けにおいては将来器材の配置を変更することになった場合において容易に変更ができるように十分に配慮した取り付け・固定方法とすること。

- (1) 生体情報モニター 1式
- (2) 自動除細動器 1式
- (3) 電動吸引器 1式
- (4) マイクロブレンダー 2式
- (5) 酸素流量計 2式
- (6) ヒーター 1式

エ 救護資器材等収納庫

患者室前方上部に収納棚を設置すること。要件は以下の通りとすること。

- (1) 車両走行中の振動又は内容物の移動等によって容易に開放しない構造とするほか、必要に応じて固定装置を取り付け、資機材等を容易に出し入れできる構造とすること。
- (2) 内部に積載品等を固定するための装置及び緩衝材等を取り付けること。

オ 輸液ビンフック

輸液ビン（500ml入り）の振動による落下防止機構付輸液ビンフック及輸液ビン固定ベルトを2箇所以上取り付けること。

2 塗装等

車体と色については、白色とし、車両前面中央部（位置は別途指示）に幅50mm以上の赤色テープを貼付し、車両両側面及び後面中央部（位置は別途指示）に幅50mm以上の赤色の再帰性に富んだ反射テープを貼付すること。

また、発注者が別途指示する文字を反射素材のマーキングシール等で作成し貼付すること。ただし、反射素材のマーキングが貼付できない箇所にあつては、反射素材でないマーキングシールを貼付すること。
なお車体のマーキングレイアウトについては、契約後別途指示とする。

第5 その他

- 1 仕様書の表現を独自の判断で解釈することなく、必ず当センターに確認すること。
- 2 本仕様書について、疑義が生じたときは、当センターの指示を受けること。
- 3 仕様書に明記されていない事項でも、技術上、機能上又は保守管理上必要なものが発生した場合は、事前に当センターと協議した後に滞りなく具備すること。
- 4 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、当センター機種等選定会議で承認された入札機器にかかわる仕様書の内容をもとに審査するものである。
- 5 本仕様中に品名等を指定しているものについては、原則同品名を取り付け又は積載するものとするが、事前に入札に関する質問により承認された場合は同等品での納入を可とする。(入札公告兼入札説明書のとおり)
- 6 本仕様書中に示す取付方法及び取付位置、積載方法及び積載位置並びに数値等は、発注者との協議のうえ、指示を受けた場合はこの限りではない。

別表第1

車両の主要諸元

全長	6,000mm以下
全幅	2,000mm以下
全高	2,600mm以下
ホイールベース	3,700mm以下
車両総重量	3,500kg以下
エンジン型式	水冷式4ストロークガソリンエンジン
オルタネーター	12V-120A以上
総排気量	2,400cc以上
ブレーキ装置	ABS付
トランスミッション	5速以上、オートマチックトランスミッション
ステアリング位置	右
最小回転半径	6.5m以下
駆動方式	四輪駆動

別表第2

車両室内空間基準表

室内高	1,800mm以上
室内有効幅	1,050mm以上
ベッド頭部席とベッドとの空間	200mm以上

※室内有効幅とはベッド上半身部床面での、右側収納庫から左側隊員席付近（折り畳んだ状態での最大幅）までの距離をいう。

別表第3

積載器具

番号	品名	規格	数量
1	自動除細動器	日本光電 AED-2152	1式
2	搬送用保育器インキュレーター	アトムメディカル 22031	2式
3	マイクロブレンダー	イワキ株式会社 OA2000	2式
4	酸素流量計	小池メディカル株式会社 Flow Gentle i8	2式
5	電動吸引器	パワーミニックII BE-1010-225	1式
6	ドライビング発電バッテリー	(株)アイケン DHS-1500	1式
7	患者搬送用ストレッチャー	KART SANA Power Brava TG-1000 モデル BL-PB 標準付属品及び酸素ボンベ固定装置含む	1式
8	保育器搭載用ストレッチャー	KART SANA TG-1000IN 搭載用トレイC-004 含む	2式
	保育器固定改造	酸素ボンベ固定装置含む	2式
9	ストレッチャー積載架台	KART SANA 製: Rail Bravo	1式

別表第4

付属品

番号	品名	規格	数量
1	予備タイヤ	メーカー純正品	1式
2	予備キー	リモートコントロールキー×2本	1式
3	車輪止め	ゴム製 適応品	1式
4	タイヤチェーン	ネット式 スタッドレスタイヤ用	2式
5	スタッドレスタイヤ	アルミホイール付	2式
6	マット	ゴム製 運転席・助手席	1式
7	補修用塗料	ボディ同色	1式
8	予備ヒューズ		1式